

掛合自治振興会だより

発行元：掛合自治振興会 島根県雲南市掛合町掛合 2151-1 TEL/FAX：(0854)62-0189 MAIL：kakeya-c@i-yume.ne.jp



新年

あけまして
おめでとう
ございます

健やかに新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症を心配しながらの一年でした。掛合自治振興会におきまして、4月の総会を書面決議での実施とさせていただきました。その後の事業も運営委員会において協議し、様々な感染予防策で対応しながら実施出来た事業、また実施を断念した事業があり、当初の計画通りいかない事は残念な事でした。

しかし、この様な状況に於いてもリモート講演会など新しい試みを実施出来た事は、今後の事業の在り方を考える良い機会でした。このような事態の中で地域の方との連携・ふれあい、掛合出身者の方とのつながりにより一層大切な事を痛感しました。

本年もつながりを求め福祉・防災事業、毎年好評のイルミネーション等充実させていきたいと思っています。職員・役員共々掛合自治振興会の更なる発展の為努力する次第です。

新型コロナウイルス感染症の終息を願いながらの一年になろうかと思えます。皆様からの更なるご提案とご協力を願います。

皆様と「掛合に住んで良かった」と感じることの出来る地域を築いていきましょう。

掛合自治振興会

会長 松村浩香

第45回掛合町

元旦マラソン

新年元旦、今年も恒例の掛合町元旦マラソンが行われ、今年で45回目の開催となりました。

このマラソンは雲南市体育協会掛合支部（支部長 渡辺重光）の主催で行われており、掛合自治振興会体育部も役員として携わっています。コースは毎年お馴染みの掛合交流センター前をスタートしてゴールの挟長神社までの約3キロと約1キロを選択して走ります。

例年、掛合町内在住の方を中心に約100名の参加がありますが、今年は年末から降り積もった雪、また新型コロナウイルスの影響もあってか40名程度の参加にとどまりました。

参加者はマスクを着用して挟長神社で揃って参拝し、それぞれが今年にむけての祈願を行って解散しました。

どうか今年はコロナ禍が収束し、いつも通りの日常が来ることを願ってやみません。



道の駅 かけイルミ 2020

～ 掛け合う想いに燈を灯す～

たくさんのご来場ありがとうございました☆

11月7日より開催していたかけイルミは、12月27日に無事終了しました。12月中旬には積雪により、また違う景色の中のイルミネーションも楽しむことができました。最終週末には、山陰中央新報に掲載していただいたおかげで大勢の方にご来場いただき、過去最高の賑やかさだったように思います。

願い石広場には、いろいろな願いごとが書かれた願い石がたくさん投げ込まれています。皆さんの願いごとが叶いますように☆ また、懸賞付きアンケートにも多くご回答いただきました。いただいたご意見は来年のかけイルミに向けて参考にさせていただきます。なお、懸賞品のお買物券は年末に発送済みです。

12月中旬の積雪時

あなたは どう 考えますか？ 誰もが掛かりえる感染を！

「新型コロナウイルス感染症から人権について考える」

～誰もが安心して暮せるために～

- 1) 右のエピソード【場面①】の話聞いて、思ったこと、考えたことを書いてみましょう。(いろいろな人の気持ちを想像して)
- 2) 【場面②】の話聞いて、あなたなら近所の人にどの様に答えるかを書いてみましょう。

(なぜそのように答えようと思ったか、理由も考えてみましょう)

①新型コロナウイルスの流行により差別される側の人たちがいます

中国や外国にルーツのある人・感染者やその家族・感染者が所属する職場や学校・特定の職業に就いている人(医療従事者、運送業者)・自粛要請に応じない業者や個人・県外からの来県者

②新型コロナウイルス禍でおきている人権問題が起きています

・ネット上の人権侵害

(感染者の特定、個人情報さらし、誹謗中傷、デマ情報の拡散)

・日常生活からの排除 (出勤拒否、登園投稿拒否、乗車拒否、入店拒否、デマによる店への被害、学校・職場でのいじめ)

・「自粛警察」という名の攻撃

新型コロナウイルスには「3つの感染症」という顔があります。

＜日本赤十字社発行より＞

第1の感染症「病気」⇒第2の感染症「不安」⇒第3の感染症「差別」⇒「病気」「不安」「差別」

第1の感染症「病気そのもの」⇒第2の感染症「不安と恐れ」⇒第3の感染症「嫌悪・偏見・差別」3つの感染症は繋がっています。

第1の感染症を防ぐために ⇒ 一人一人が衛生行動を徹底しましょう

「手洗い」「咳エチケット」「人ごみを避ける」

第2の感染症に振り回されないために

⇒ 不安や恐れは「気づく力」「聴く力」「自分を支える力」を弱めます。

「気づく力を高める」「聴く力を高める」「自分を支える力を高める」

第3の感染症を防ぐために

⇒ みなさんそれぞれの場所で感染を拡大しないように頑張っています。{小さな子どもの居る家庭、高齢者、治療を受けている人と家族、医療従事者、社会を支えている人} この事態に対応しているすべての方々をねぎらい、敬意をはらいましょう。

【場面①】コンビニエンスストアにて

〇〇県では、新型コロナウイルスの感染者数が増えてきています。〇〇県にある健康病院は、新型コロナウイルス感染症の患者を受け入れる病院に指定されています。健康病院の近くにあるコンビニエンスストアでの、ある日のできごとです。

レジの前に健康病院と書かれた制服を着た人が立っています。健康病院の職員なののでしょうか？その人を嫌そうに見るお客さんもいます。

すると、コンビニエンスストアの店員が、制服を着た人に向かって、「お客さん、すみませんが、健康病院の制服を着て店に来るのをやめてもらえませんか。コロナうつるんじゃないかと、ほかのお客さんが嫌な思いをするので。それだけでなく、ここどころお客が減っています。はつきり言って、営業妨害です。」と言いました。

「新型コロナウイルスがはやっている時期に、コンビニに来ないでほしい。」後ろに並んでいたお客さんがつぶやきました。

【場面②】家の近くにて

家の近くで、近所に住むAさんとBさんが会話をしています。

Aさん「Cさんの家の息子さんは、関東の大学に行っているんだけど、来週こちらに帰ってくるらしいよ。」

Bさん「へえ、そう。」

Aさん「そこの大学は、新型コロナウイルス感染症患者がたくさん出ているのに、帰ってくるなんて、怖いと思わない？」

Bさん「怖いとは思うけど、帰らないといけな事情があるかもしれないよ。」

Aさん「どんな事情が分からないけど、私は息子さんに帰ってきてほしくないで、Cさんの家へお願いに行こうと思う。一緒に行かない？」

Bさん「うーん。どうしよう？私の家には高齢者がいるので、帰ってきてほしくないという思いはあるけど、これからのつきあいもあるし、Cさんの家に話しに行くのは少し気が重いなあ。」

Aさん「でも、帰ってきたらお互い嫌な思いをするでしょう。やはり、今は帰るべきではないと、私は言っていく。Bさんはどうする？」

Bさん「・・・」



掛診だより 第一回



「掛合診療所で健康管理させてもらえませんか？」

雲南市立病院 地域ケア科 太田龍一

あけましておめでとうございます！今年もよろしくお願いします。平素から当院の活動に対してご理解とご協力をいただきありがとうございます！

今年から地域自主組織の方々のご協力をいただき、掛合診療所からのお知らせや情報提供に関して紙面をいただけることになりました。掛合診療所として、地域の皆様に関われた診療所として、多くの方にご利用いただけるように努力していきたいと思っております。引き続きどうぞよろしくお願いします。

今月のテーマは「**診療所での健康管理**」についてです。

昨年からの新型コロナウイルス感染症で地域の検診が円滑に行われていない状況があります。日頃、血圧やコレステロール検診、がん検診などを受けて健康管理をされている方々の中で、検診を受けたくても受けられていないという方がいるかと思えます。掛合診療所では、人間ドックなどとは別に、「**ご自身の健康に不安のある方**」や「**日頃から健康に気をつけているが、最近検診を受けていないので心配な方**」の相談を積極的に行います。

また「**現在気になっている症状や病気**」や「**必要な検査や治療**」について、内科に限らず、どんな症状や病気に対しても相談対応させていただきます！

相談希望の方は**毎週月～木曜日、直接診療所へ来ていただくか、62-0135 へご連絡いただき、「掛診だよりを見た」と言っていたら幸いです。**

地域の皆様が、気楽に相談し利用できる診療所になれるように努力して参りますので、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします！

天ちゃんの防災教室 第二部

春一番

『春は名のみ風の寒さや』と歌われる様に、立春の頃の日本列島は俳句の季語としては、うららかな春のおとずれを告げる優しい風のようなイメージがある。しかし立春の頃（2月4日頃から春分3月21日）までの間に吹くその年の最初の南寄りの暖かくて、強い風の事であり、日本列島はまだまだ厳しい寒気に覆われている中で8メートル以上の風が条件です。元々は日本海西部の漁師さん達に間で伝わる言葉です。春の始めに吹き、海難事故等で多くの漁師さん達の命をも奪う甚大な被害を招く暴風として怖れられ、春一番は漁師さん仲間では春一（はるいち）と呼ばれています。

西日本では大体2月1日から2月16日の間で吹いていますが、遅い年もあり1995年に福岡と大阪で3月16日・東京で3月17日の時が有りました。春一番の吹く天気図の基本は、千島列島付近に発達した低気圧があり、日本付近は西高東低の冬の気圧配置で、この時更に日本海南部（山陰沖）に小さな低気圧が発生し、寒冷前線を引きずりながら北海道付近に進み、ダブル低気圧が発達し、日本の北は深い大きな気圧の谷となります。

この為日本付近は全国的に大荒れの天気となり、今年の様に寒気が強く各地で積雪の多い処では雪に依る融雪洪水、なだれ、屋根からの落雪、またまれに数拾年・数百年に一度の大規模な地滑り等、海陸何処でも大きな被害が出ます。春を呼ぶには少し厄介なお土産付きです。





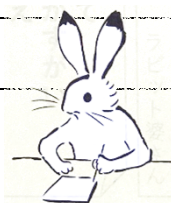
交流センター



カレンダー



日	曜	催し物・部活動	教室・サークル	日	曜	催し物・部活動	教室・サークル
1	月			17	水	・行政相談	・さざんかの会
2	火	・健康相談	・ケアピラティス ・ひまわり教室 ・そろばん	18	木		・パソコン教室 ・コールヨリージョ
3	水	・室内運動教室	・さざんかの会	19	金		・そろばん
4	木		・パソコン教室 ・コールヨリージョ	20	土		・トールペイント
5	金		・そろばん	21	日		
6	土			22	月		
7	日			23	火	・天皇誕生日	・ひばり会 ・そろばん
8	月			24	水	・いきいきサロン	・なのはな会
9	火		・ケアピラティス ・ひばり会 ・そろばん	25	木		・さわやかクラブ ・コールヨリージョ
10	水	・いきいきサロン ・室内運動教室	・なのはな会	26	金		・そろばん
11	木	・建国記念日	・コールヨリージョ	27	土		
12	金		・切り絵同好会 ・そろばん	28	日		
13	土						
14	日						
15	月						
16	火	・申告相談 (24日まで)	・ケアピラティス ・そろばん	※ は休館日です。 予定は変更されることがあります。			



いきいきサロン開催のご案内

いろんなことがあった2020年。気の知れた仲間と集まり、たわいもない話をして過ごせる日々が突如、気軽に集まれなくなりました。そんな中、たくさんの方にご協力をいただき、いきいきサロンを開催して参りました。

本年度も残るところあとわずか。「ちょっとし行ってみーかね！」という方はこの機会にお越しいただけますと喜びます。〓

【日程】2月10日(水)9時~11時半

2月24日(水)9時~11時半

【場所】掛合交流センター 多目的室

【内容】まめなかね体操、季節の遊び、など

【参加費】100円(お茶代)

※マスクをご着用のうえお越しください。

寒中お見舞い
申し上げます



▼△ 第2回おもしろ川柳募集中! △▼

川柳を作って頭の体操をしよう! 応募は簡単↓

用紙に ①川柳 ②名前またはペンネーム ③年齢 を書いて、

掛合交流センターの応募箱に投入するかFAX(62-0189)を

送るだけ! 2/28が締切です。(主催: 訪問看護ステーションコミケア)

第1回おもしろ川柳入選作品

(81句中8句入選)

私には 勿体ないと 断られ 掛合の田舎っぺさん	孫ふえて うれしいけれど 67歳 清水誠さん	ひい孫が 破りし穴から 紋次郎 80代 藤原安年さん	耳元で「ブーン」と告知し 刺すヤブ蚊 なつさん	子犬来て 夫婦のかすがい 会話増え 71歳 夢追い人さん	琴の音に 心癒され 年老いる 81歳 ラビット婆さん	ボケるなど 言った夫が 先にボケ 掛合の田舎っぺさん	わが里は 猪熊狸の 繁華街 80歳 たか爺さん
----------------------------	---------------------------	-------------------------------	----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	----------------------------